CMA News 新春特別号

Vol.4
2011.01.15
The Community Management Association

今年こそ、飛躍の年に。

あけましておめでとうございます。

早くも21世紀のゼロ年代が終わりましたが、デフレ、年金、介護、医療、教育、雇用などさまざまな分野で、従来の対応手法が行き詰まりをみせています。これだけは大丈夫と信じていたものが、不確かなものに変容していく様を、私たちはいま目の当たりにしています。

さてCMA発足当初より優先課題のひとつだった本部事務所・地域コミュニティ活動拠点が2年目の後半にようやく実現しました。場所は新大阪駅東口から徒歩4分、大阪市営住宅の1室です。“やりたいことにまずはトライしてみる”環境が整いつつあります。（その詳細については『CMA News』Vol.3をご参照ください）

そこで、なにはともあれ会員の皆さまはじめ関係各位にご披露しなきゃあ、と1月15日（土）にCMA2年目の活動の一端をご紹介する「新春セミナー・会員懇親会」を催すことになりました。

新拠点は、かつてイベントで使用した足場板や構造用合板などを再利用した、賃貸介護居室（23m）並みの小さな空間ですが、木の香ただよう温かみのあるスペースができあがりました。真向かいの集会所スペースと併せて、ぜひ皆さまに使い勝手を体感していただきたいとおもいます。

今年もお力添えをよろしくお願い申し上げます。

（末筆ですが、これまで間借りしていたCASEの皆さん、大変お世話になりました。感謝申し上げます）

CMA会長　森 日出男

寿（ことぶき）−105改修工事顛末記

新年おめでとうございます。CMA・News Vol.3に記載していました「寿—105」改修工事が昨年11月末に完成しました。（詳細:同号参照）「寿—105」という新拠点が積極的に利用されるとともに地域のサロンとしても活用され、CMA活動活性化の新しい起爆剤になることを心から祈念しております。

●改修工事の概要

主要な材料は、水都大阪2009「つるむde大阪」中之島会場で使用した足場板・構造用合板の廃材でしたが、施工にあたった西村建築工房の尽力で見事に蘇り、24㎡ほどの小さな部屋ですがCMAに相応しい柔らかな空間に再生されました。足場板の書棚、合板の床・壁・机、安価な蛍光灯照明、安売家電ショップのエアコン、地域ふれあい喫茶で使用されていた家具・備品他、皆様の汗と工夫で何とか完成したものと思っております。まだまだ必要備品他不足していますので、ご協力お願いいたします。

●改修工事＝動き出したCMA活動

工事着手に際して大阪市の別部署への工事届が必要なことが分かり、それが完成の遅れの原因でした。工事着手前には団地役員の皆様へのご挨拶や住棟の方々へのチラシ配布他を行い工事への理解をいただきました。工事途上での様々なふれあいのおかげでご近所の方々が遊びに来られたり、大阪大学のヒアリング対象になったりという現象が早速おきています。新拠点を獲得したCMA活動の将来を象徴しているのかもしれません。

●CMA文庫のスタート

室内の造付本棚には既に1,000冊を超える図書が整理されていますが、ほとんどの書籍は森会長が少しずつ運び込んでいただいた寄贈本です。「まちづくり関連図書」が主体であることにちなんで「CMA文庫」という愛称になりました。図書貸出も始まっていますので、ご利用（更なる書籍の寄贈）をよろしくお願いいたします。

CMA副会長　井上　守

連載ー緊急報告!　今年の夏「つるむde尾道」プロジェクト始動します。

2011年7月、CMAでは大阪と尾道を繋ぐバス輪行ツアー『つるむ de 尾道』プロジェクトを決行いたします。前回の連載で、早稲田大学のシンポジウムでコレクティブタウン北芝の報告をしたことをお伝えしましたが、そのシンポジウムでご一緒した尾道市長と自転車のまちづくりで意気投合し、大阪と尾道を繋ぐ“てっぱん”プロジェクトを企画することになりました。これは、今年尾道で開催される「海フェスタ*」支援プロジェクトでもあります。世界的にも有名なサイクリングロードである「しまなみ海道」に注目し、CMAの経験を生かした試行実験を通じて都市と地方をつなぐ『海響ツーリズム』を具現化する契機とします。試行実験では、①新たな社会性と可能性を追求した障害者タンデムツアーの企画、②自転車スキル対応型ピックアップシステムの導入、③既存自転車関連事業との連携、尾道の歴史・文化・産業・まちづくり等既存活動との連携を検討しています。

2009年夏、CMAでは「水都大阪2009」イベントに際し、チャリンコでつながるまちづくり『つるむ de 大阪』を企画しました。その活動はCMAの自転車部会に継承されて鳥取や島根のバス輪行ツアーが生まれ、里山再生部会や産直部会へと広がり、CMA活動の主要な一翼を担うまでになってきました。そして今回、『つるむ de 尾道』へとつながります。みなさんも一緒につるんでみませんか?

（財）日本海事広報協会提供

*海フェスタ：1986年から全国の主要港湾都市において「海の祭典」として行われてきており、2003年から「海の日」が7月の第3月曜日となり、3連休化されたことを契機として、同年から名称を改めて開催されているものです。

CMA副会長　寺川 政司

第2回・第3回CMA住宅見学会

②八尾市西郡コーポラティブ住宅『える』
11月27日（土）15:00～

前回見学会の好評を受けての2回目の見学会でした。事業コンペ応募・土地の建設に向けての整理・みんなで設計&施工とつながる「地域共生型木造戸建コーポラ住宅」で、CMA理念の凝集した実作を見学できました。すでにスタートしている屋外空間の協働活用他、今後のコーポラ理念の発展と地域への浸透・波及が期待されます。（井上）

③「淡路の住宅」～崇禅寺～寿105
12月11日（土）13:30～

ラビリンスのような廊下空間と移動のたびに発見できるシーンの連続が新鮮な感動を呼ぶ住宅でした。建物前のオープンスペースがどのように演出されるかが今後楽しみなところです。工事途中のため見学は適当に切り上げ、接する機会の少ない崇禅寺～現代長屋TENを経てCMA新拠点寿105まで散策しました。このコースに「砲台跡住宅」「中島惣社」「中島大水道跡」他を含めるとCMAオリジナルツアーの完成です。（井上）

新春ことぶき市開催!!

なぎ農楽校の「手造り味噌」は無添加無農薬の2年醸造の逸品です。メンバーの西村さんの自信作で、子どもから大人まで毎年寒中の仕込みに参加して作られます。市販価格よりとても安価で提供してもらえました。CMA会員で希望者があれば、今年の仕込みに参加もできますよ。ミネラルたっぷりの土佐の「あまみの塩」は火力を使用せず天日干しで仕上げてあり通販でも人気の商品です。また北海道産に比べ知名度は低いですが、青森県「泊の出し昆布」は、肉厚でやわらかく2度もだしがとれます。他に瀬戸内の祝島の枇杷茶や智頭町の手造りこんにゃくなどどれも品質に自信があるものばかり。

CMA事務局　竹本 暁代

会員リレー・メッセージ

基本法ばやりの昨今

「交通基本法」「建築基本法」「環境基本法」等々、最近「基本法」という言葉を目にすることが多い。「教育基本法」に象徴されるとおり、日本国憲法とそれに基づく法整備だけでは、国民の基本的な権利・義務他法理念確立に対する懸念がある場合に「基本法」は必要とされる。教育基本法の場合は、戦前教育に対する強い反省が基本法制定の動機であった。

交通基本法も「移動の自由」「地球環境と交通」他交通関連法の基本を定めるという点では意義あることだが、背景にある問題意識が希薄な感じを受ける。基本的人権の国・フランスの交通基本法は「移民等の多民族貧困層が（日本と違って）公共交通機関の未整備な社会の中で孤立している状況」に対する深刻な背景がある。

建築基準法、建築士法他の限界も指摘されて久しいが、建築の文化としての位置づけ・まちづくり他建築関連分野との関係他が曖昧なまま「建築基本法」と叫ばれているように思う。この調子で行くと「都市基本法」「福祉基本法」「情報基本法」・・・と基本法の氾濫の中に本質的な問題意識が一段と希釈されていくよう感じる。

CMA副会長　井上　守

西淡路2丁目

待望の活動拠点「新事務局」ができました。足の便にも、部屋の大きさにも多少の不便さはあるものの、まずまず居心地のいい空間が生まれました。これにより日頃の活動が質量ともに、より高まってくるものと思います。今年のCMA Newsも情報満載の各号をお届けできるものと確信する、年の初めです。（デビ）

発行　一般社団法人 コミュニティマネジメント協会
〒533-0031　大阪市東淀川区西淡路2丁目1-14
日之出第三住宅（ことぶき住宅）105号室
電話:06-7860-4730　FAX:06-7860-4731
jimukyoku@cma-web.net　http://www.cma-web.net

CMA自転車市民倶楽部コーナー

第2回CMAバス輪行ツーリズム　実施日:12月4日(土)～5日(日)

西鳥取<むら・まち交流>エコ輪行ツーリズム

「自転車というエコ・モビリティにできること、いっぱいあります。その楽しさと、可能性の追求を次世代にも継続してほしいから…」当日パンフレットに思いは込めたものの、短期の準備不足がたたり参加者は15名と振るわず、かろうじて実施できたという結末でした。ただ、みなさんの願いが通じてか、師走に入ったこの時期の鳥取で、2日連続、願ってもない信じられない快晴!
(正月の山陰豪雪で、我々が走った9号線でクルマ1000台が立ち往生!)

▲平福宿

今回のツアーは、智頭町那岐でむら/まち交流農楽校を運営される西村さんのご協力で実現したもの。ウキウキするほどの自転車日和で、初日は智頭街道の3つの宿場町、2日目は海寄りの旧道を縫うように、自転車にしかできないポタリングの旅を満喫しました。(Aチーム約100km、Bチーム約50km走行)

▲大原宿本陣(有本家)

宿泊は「なぎ農楽校」の宿舎である、元町長宅の古民家。無農薬栽培の里芋や大根などの収穫体験もでき、農楽校で仕込んだ柚子味噌で、農家のお母さんの手作りこんにゃくに舌鼓。里山でしか食べられない猪鍋や、鳥取漁港の白イカの刺身にカニ汁という、素朴ながら山海の旬の味覚は絶品でした。

境港では獲れ立てのカニや日本海の幸、水木しげるロードでは鬼太郎の“妖怪的まちおこし”に触れながら、皆さまと楽しさを共有して無事終了することができました。次回はまた、今年7月予定のしまなみ海道「海フェスタ尾道」で再会できることを楽しみにしています。ありがとうございました。

▲無農薬野菜の収穫

◇2日間の行程
12月4日(土)
大阪⇒佐用インター⇒平福宿～宮本武蔵の里～大原宿～西粟倉～智頭町⇒那岐「なぎ農楽校」収穫体験&宿泊
12月5日(日)
⇒那岐(バス)⇒北栄町～大山町御来屋～境漁港センター⇒境港(水木しげるロード)観光⇒(バス)⇒大阪

▲境港・水木しげるロード

自転車市民倶楽部　小山 勝己

▲東伯郡琴浦町付近

▲募集チラシ(第1回バス輪行・小鴨川沿)

▲智頭宿、上町坂

▲東伯郡琴浦町・波しぐれ三度笠(石像三体の彫刻)

▲無農薬野菜の収穫

▲境港・水木しげるロード

▲平福宿、天神橋

▲智頭宿、石谷家住宅・土間

▲境港・水木しげる記念館

▲智頭宿、石谷家住宅・新建座敷

▲大山(車中から)

▲智頭宿、石谷家住宅・江戸座敷

▲宿泊所・台所

▲パンフレット(大原宿本陣)

▲智頭宿、石谷家住宅・土間

▲居間での晩餐